

比較宗教学 (異端と諸宗教) Book Report
比較宗教学の視点から観るカルト宗教の人間観
教職志願者コース・基礎科2年
野町 真理

A
アウトライン

- 1、カルト宗教の類型 (穏健的カルト・破壊的カルトなど)
- 2、世界におけるカルト宗教の社会現象
- 3、カルト宗教を引き起こす日本の宗教土壌
 - (1) 入信動機 (抑圧からの解放と人間進化の屈折現象)
 - (2) 教祖の宗教的人間性 (虚言性と呪術性)
- 4、聖書に見るサマリヤ混合 (呪術) 宗教と日本の混合宗教の比較
異教化したサマリヤ
日本の混合宗教の先駆的人物・聖徳太子
- 5、カルト宗教の世界観 (精神的苦悩と悲劇)
 - (1) 歪められた神的人間観 (神になる人間、人を教祖の欲望に奴隷させるサタンの策略)
 - (2) 修行義認と信仰義認による救済観の相違
 - (3) 恐怖心を煽る終末論的救済観
 - (4) 極度の善悪二元論から来る対決型倫理観
- 6、脱会とカルト宗教へのキリスト者の対応、対策
 - (1) 脱会
 - (2) 恐怖心からの解放 (奇跡や超能力よりもキリストにある罪の赦しを求める)
 - (3) 脱会者たち自身によるネットワーク作り
 - (4) 教会での「比較宗教学講座」の活用

まとめ

*カルトとは何か?

カルトと聞いてすぐに頭に思い浮かべるのはやはりオーム真理教である。あのような破壊的なカルトはインドや北米を中心に1970年代に出現した。現在カルトは全世界的に (中国、フランス、インド、チベット、アメリカ、日本など) 見られる社会現象となっている。カルトはチャーチやセクトとは本質的に異なり、異教をベースにした人間超越神化主義である。これは汎神論神秘主義神化思想 (ニューエイジ思想) と非常に似ている。「あなたも神になれる」というメッセージは創世記の最初に記されている悪魔の誘惑の声そのものである。

*なぜカルトが起こるのか?

- 1、罪人の性質から
キリストを知らず、神の善悪の知識の木 (倫理的善悪の物差し) を持たないことから。
- 2、カルトの発生する背景社会
混合宗教
管理社会、競争社会、唯物社会、社会の最小単位である家庭の崩壊
- 3、極度に終末や再臨を強調したリヴァイバル運動の落とし子

* カルトの世界観・人間観はどのようなものか？

- (1) 歪められた神的人間観（神になる人間、人を教祖の欲望に奴属させるサタンの策略）
- (2) 修行義認と信仰義認による救済観の相違
- (3) 恐怖心を煽る終末論的救済観
- (4) 極度の善悪二元論から来る対決型倫理観

* カルトとどう関わっていけばいいのか？

現在私の所属している教会ではもとエホバの証人のクリスチャンを中心とした学び会が月に一度持たれている。またその方たちによってエホバの証人救出用のトラクトを作製中である。「脱会者たち自身によるネットワーク作り」ということが案として挙げられていたが、だんだんそれが出来つつあり、そのメンバーのよって相談者に対して救出のための資料を送付したりといった働きがなされている。

また、最近もとオウム真理教の信者だった方が世の光のラジオ放送と手紙による伝道を通してキリスト教信仰に導かれた。その方のために手紙を書き、祈られた信徒の方が以下のような証しをして下さったのが大きなチャレンジである。「最初いろんな方からオウム真理教だった人に対する伝道は訓練を受けた牧師や伝道者でも難しいということをお聞きし、何度も手を引こうかと思いました。しかし神様がこの人に働いてくださったから手紙を書いてきて下さったのだと言い聞かせて祈りつつ手紙でイエス様のことをお伝えしました。今、神様に感謝するとともに、人間的視点で見て手を引くのではなく、全能の神の導きを確認して祈り抜くことが大切だということを改めて覚えさせられました。」

即時足もそのアプレンドも自分のものとして受け止め、福音と救いのために励み

下さい。(m) 98.3